2022 年 10 月 6 日

卒業生各位

学校法人桜蔭学園
理事長・校長　齊藤由紀子

「　(仮称)『宝生ハイツ建替え計画』により想定される桜蔭学園の教育環境悪化に関する請願」の審議に関するご報告と近況のお知らせ

卒業生の皆様には、標記の件に関しまして、多くのお励ましとお力添えを賜りましてありがとうございます。たくさんの署名のご協力をいただき、ありがとうございました。

7 月 6 日にご報告いたしましたように、卒業生の皆様、在校生の皆様、ならびに趣旨にご賛同くださった皆様からいただきました署名 15,681 筆を添えて、6 月 13 日に、東京都議会に、教育環境悪化を避ける請願書とともに署名簿を提出いたしました。その後 8 月末までにいただきました署名を追加し、都議会で精査され、有効署名は 14,714 筆となりました。

請願は、東京都議会の都市整備委員会と文教委員会に付託され、それぞれ 9 月 15 日に審議されました。採択はされませんでしたが、どちらも継続審査となりました。請願の紹介者になってくださった議員さんからは、この結果は、「審査の継続が必要だと、委員全体がその方向で一致したということで、学園や地域の方々の運動によるものです。」との言葉をいただきました。建築計画の変更などには関わりませんが、東京都議会の皆様には知っていただけたと思っております。今後もより多くの方々に、教育環境を守るための働きかけをして参ります。

本郷一丁目の町会（元二親和会）を中心として立ち上げられました「本郷一丁目の住環境を守る会」も、東京都、文京区に陳情書を提出しております。たくさんのご署名をいただきまして本当にありがとうございました。

さらに、8 月 30 日に、文京区議会に、文京区において現在のような問題が生じた場合に教育環境を守るルールを作ることの請願を提出し、9 月 20 日の建設委員会にて審議されましたが、僅差で不採択となりました。しかし、本会議、決算委員会でも議員の皆様が質問をしてくださり「事業者に対し丁寧な対応に努めるよう要望する」との区長の答弁を得ております。

現在、総合設計制度の許可申請が行われており、これから建築審査会が開かれる見込みです。公聴会には、保護者の方々が意見書をお出しくださり、ＰＴＡ会長、保護者のお二方が、当日それぞれ意見を述べてくださいました。卒業生の保護者の方、近隣の多くの方々も、東京都・文京区に意見を提出してくださっています。皆様のご尽力には心より感謝申し上げております。

新聞社の取材も入り、9 月 29 日には、東京新聞に記事が掲載されました。引き続きマスコミにも働きかけて参ります。

現在、学園は東京都で「あっせん」により、建築主と話し合いを継続中でございます。教育環境の悪化を回避すべく、最大限の配慮を求めて参ります。できる限りのことを行って参りたいと存じます。

これまでの、皆様のご理解ご協力に衷心より感謝申し上げますとともに、今後とも、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。